



新型コロナウイルスワクチンの話

薬事委員会事務局長 みどり病院 薬剤部 今西 正人

本当はこの記事を書くにあたり、接種後の感想・状態をお伝えしたかったのですが、この記事の最終チェックをしている3/22(月)の時点では、岐阜民医連の職員は誰も接種できていません。これは、国のワクチン配布計画が混乱しているためです。にもかかわらず首相や市長は「高齢者は4月中旬から接種開始」と言っており、2月初めから準備を進めていた我々中小病院の医療従事者はまさに「肩すかし」をくらった状況になっています。

さて、3月末の時点で国内認可されているワクチンは、コミナティ筋注のみです。これは「mRNAワクチン」と言う新しい作用機序を持ち、その新規性から「大丈夫？」という声もありましたが、各国での臨床試験・承認後の投与の結果が各種学術誌に掲載され、内容を確認した限りでは、有効性が高いことは間違いなくと考えています。

しかし前述したように、ワクチン納入・配布計画の混乱があるため、今後地域の皆さんが接種するワクチンはコミナティ筋注ではなく、次に国内で新たに認可される予定のアストラゼネカ製である可能性もありますので、現在世界で使用・開発されている主なワクチンの特性をまとめてみました。

表には、各ワクチンの種類・接種回数・進行状況を示してあります。国内開発ワクチンは国からの研究補助費が多い割に、まだ完成すらできていません。(3月末の状況) 図には、各ワクチンの種類を模式的に示してあります。

mRNAワクチン

スパイクタンパク質の遺伝情報
脂質などの膜

ウイルスベクターワクチン

スパイクタンパク質の遺伝情報
人体に無害な改変ウイルス

組換えタンパク質ワクチン

細胞内でウイルスタンパク質を作る
ウイルスタンパク質のかけらを単離・精製し、投与

DNAワクチン

ウイルスタンパク質の遺伝情報

- mRNA ワクチン**: ウイルスの遺伝情報を投与…体内で mRNA を介してウイルスのスパイクタンパク質を発現させる
- ウイルスベクターワクチン**: 人体に無害な改変ウイルスを「運び屋 (ベクター)」として使用し、遺伝情報を投与
- 組換えタンパク質ワクチン**: ウイルスのかけらのタンパク質を、昆虫や植物、哺乳動物細胞で作成し、単離・精製し投与
- DNA ワクチン**: ウイルスのかけらのタンパク質の遺伝情報を持った、環状 DNA を投与

ワクチン接種後の副反応 (アナフィラキシー) への対応ですが、普段から院内で対処できる薬剤・設備があるため、基本的には大丈夫です。

またワクチン接種の手順・場所は、各自自治体よりお知らせがあるため、個別にみどり病院や診療所への問い合わせは「遠慮ください。ご自宅へ届く「接種券」に従っていただきますよう、お願いします。

医薬品同様、ワクチンの開発は日進月歩です。また方針・案内も次々と変わります。「健康とくらし」の発行スピードでは追いつかないため、最新情報を知りたい場合は、**班会 (オンライン)**を通じて別途病院薬剤師から情報提供していきたいと思っております。(解説用動画も順次公開していく予定です)

国	企業/アカデミア	ワクチンの種類	接種回数	海外 進行状況	日本国内
米/独	ファイザー/ビオンテック	mRNA	21日間隔で2回	多くの国で接種中	2月以降接種中
英	アストラゼネカ/オックスフォード	ウイルスベクター	28日間隔で2回	米を除く多くの国で接種中	5月承認?
米	モデルナ	mRNA	28日間隔で2回	多くの国で接種中	5月承認?
米	ジョンソンエンドジョンソン	ウイルスベクター	1回	米で接種中	2020年9月~治験中
仏	サノフィ	組換えタンパク質, mRNA	詳細不明	米で治験中	(予定なし)
米	ノババックス	組換えタンパク質	詳細不明	英で治験中	(全工程国内生産予定)
日本	塩野義/感染研/UMAファーマ	組換えタンパク質	詳細不明	(予定なし)	2020年末 治験開始
日本	アンジエス阪大/タカラバイオ	DNA	詳細不明	(予定なし)	2021年内に大規模第III相試験
日本	第一三共/東大医科研	mRNA	詳細不明	(予定なし)	最遅で2021年3月に治験開始
日本	KMI/イオロジクス/東大医科研/感染研/基盤研	不活化	詳細不明	(予定なし)	最遅で2021年1月に治験開始
日本	IDファーマ/感染研	ウイルスベクター	詳細不明	(予定なし)	最遅で2021年3月に治験開始



新入職員紹介

この春、医療法人岐阜勤労者医療協会には20名の新入職員 (中途採用者を含む) が入職しました。このうち4月の新入職員は3年目の研修医1名含め、看護師3名、事務2名、作業療法士1名、理学療法士2名、診療放射線技師1名、介護福祉士2名の12名で、例年になく多職種の方が入職しています。

4月1日、2日と岐阜勤医協および岐阜民医連のオリエンテーションがあり、岐阜勤医協の50年の歴史や民医連綱領、岐阜民医連の各事業所について学習しました。また、共同組織についても紹介

があり、法人や事業所が友の会のみならず地域のみなさんに支えられながら発展してきたことが説明されました。

これからみどり病院のリニューアルをすすめるにあたって、各専門職種としての知識や技術の習得はもちろんなこと、人権を守り、「無差別・平等の医療・介護」を実践できる民医連の職員として成長し、新しい病院を支えることができるよう、地域のみならずともに育成に力を尽くして参りたいと思っております。よろしくお願いたします。

健康春秋

今年一月三日の朝日新聞の朝刊トップの記事に「有害物質含有廃棄物処理場」残留という記事が出ていました。▼この有害物質はPFAS (有機フッ素化合物) の一種で、分解されにくく(千年以上分解されない)一度環境を汚染するとなかなか処理が難しく、それだけ注意が必要で、二〇二〇年以降は製造が禁止されていますが、記事にあるようにまだ大量に残っています▼そもそもこの有機フッ素化合物(有機といふのは炭素が含まれること)で最初の利用は、焦げ付かないテフロン加工のテフロンでした。その後、撥水スプレーとか防燃加工や紙の防水コートにも使われ、そして消火剤としての性能が活かされ、地下駐車場や空港、そして軍事基地などで使われ、しばしば事故により環境汚染が問題になっていきます▼昨年四月には沖縄米軍普天間飛行場から大量のこの有機フッ素化合物が流出、深刻な地下水汚染を引き起こしました。しかし米軍基地への立ち入り検査はできず、その申し入れも政府はしていません▼永久の化学物質だと言われ、一度環境に入ると、長く広く滞留し、アメリカ人の九五%以上の確率で検出されるという事です。また、精巣がんや腎臓がんなどのリスクを高めている可能性もあります▼日常生活のなかで注意してみると、かなり広範囲に使われている物質で、知らないうちにこの有機フッ素化合物を摂取しています。どんなところに、どのように使われているか、一度注意して調べてみることも必要ですよ。

(K)